



633 FMモニターレシーバは電波監視に向けたDSPベースのFMチューナーです。

従来品の631-Jよりコンパクト且つコストパフォーマンスに優れた監視チューナーです。

搬送波のレベル低下および無音を検知してアラーム出力します。

フロントパネルのジョグホイールとディスプレイで簡単に設定が可能です。

受信音声をXLRバランス又はAES/EBU出力。設定はフロントパネルからメニューにしたがって行います。

高分解能LCDディスプレイにより以下を表示

オーディオレベル、チューニング中の周波数、変調度（簡易表示）、受信入力レベル

RDS(Radio Data System)の表示、フロントパネルのUSBポートとPCを接続しRDSデータの送出力が可能 **RDSは日本国内非対応**

633は変調度メーターは装備していません。変調度の目安としては、オーディオレベルメーターの0dB表示の下に黒い四角が表示されると100%変調の状態です。



アンテナ入力
F型コネクタ 75Ω

モニター出力(デジタル)



12V DC電源

アラーム出力
搬送波のレベル低下
および無音を検知
オープンコレクタ出力

モニター出力(アナログ)
+4dBu バランス出力

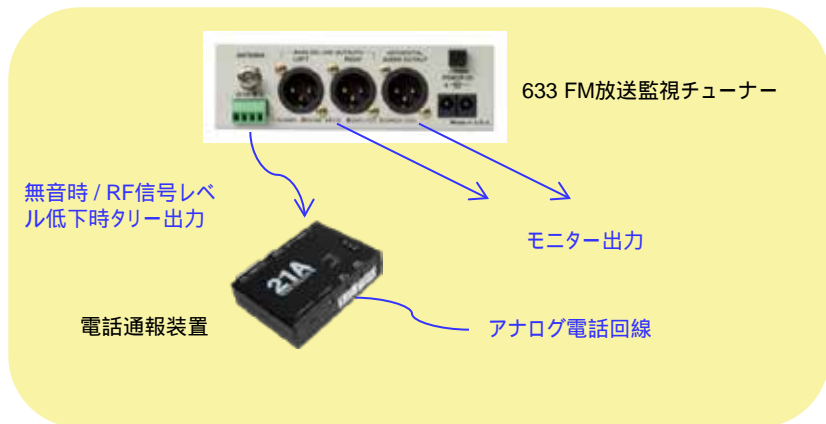


レベルメーター表示は、ピーク表示、モノラル400Hz、信号を示します。最大+3dBまで表示。ステレオではパイロット信号を含むため約1dB下がります。メーター0dBから-15dBの間は0.5dB刻みで、音声レベルをしっかりと確認できます。フロントパネルにヘッドホンジャック付。

価格・納期などにつきましては
SCAサウンドソリューションズ
Tel: 03-3372-3661
営業 武岡 宛に
お問い合わせください。

< 633使用例 >

633 は631-J FM放送監視チューナーのようにアラーム出力を電話通報装置に接続することができます。



633のタリ-出力を電話通報装置に接続することで、無音時、RF信号低下時に電話音声メッセージで通報を出すことができます。

RDS(Radio Data System)とは

FMラジオで選局中の放送局や、その放送局で再生中の曲名等の様々な情報をラジオに表示させるサービス。現在は欧米で実施されているが、日本国内では実施されていない。尚FMチューナー内蔵のiPod nanoにはこの機能が搭載されている。



定格

- 受信周波数 76.0MHz-108.1MHz、100kHzステップチューニング可能
- アンテナ入力 75Ω、Fコネクタ
- 受信感度 モノラル ≤ 10μV/50dB(S/N)
- オーディオ周波数特性 30Hz-15kHz
- デエンファシス 50/75μs切り替え可能
- PGMオーディオ出力 アナログ: XLRコネクタ、+4dBu/バランス/200Ω
AES: XLRコネクタ、44.1kHz
ヘッドホンジャック: 3.5mm TRS
- USBポート RDSデータ送出力 日本国内非対応
- アラームタリ- キャリアロス、無音検知用オープンコレクター
無音検知は1秒~2分、検知レベルは15dBで固定。
RFレベルの開始レベルは設定可能
- 電源 12VDC/140mA x2(他のInominiモジュールとのデューティチェイン用。冗長化用ではありません。)
- サイズ H 40.6x W 139.7 x D 139.7 ,
別売りの1Uサイズラックマウントキットでラックマウント可能。